

## 第82期 事業報告書

平成16年4月1日 ▶ 平成17年3月31日

### 株主メモ

決算期  
定時株主総会開催時期  
同総会議決権行使基準日

毎年3月31日  
毎年6月下旬  
毎年3月31日  
その他必要がある場合は、あらかじめ公  
告します。

配当金支払株主確定日  
名義書換代理人

毎年3月31日  
〒100-8212  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱信託銀行株式会社

郵便物送付先

〒171-8508  
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-707-696(フリーダイヤル)  
三菱信託銀行株式会社 全国各支店

電話問合せ先

同取次所  
単元未満株式の買取請求  
及び買増請求取扱  
公告掲載新聞

上記名義書換代理人及び同取次所

日本経済新聞  
ただし、貸借対照表及び損益計算書は当  
社ホームページ (<http://www.kyokuyo.co.jp>)  
において提供します。



広がるおいしさ ひろげるキョクヨー

株式会社 極 洋

〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目3番5号  
ホームページ <http://www.kyokuyo.co.jp>

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第82期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の事業年度を終了しましたので、連結ベースを主体とした事業報告書をお届けし、営業の概況等をご報告いたします。



取締役社長

福井 清計

## 当期の概況

当期における水産・食品業界は、需要の低迷と企業間競争の激化など、引き続き厳しい環境にありました。当社グループは従来にも増して収益の確保を重視し、事業の積極的かつ効率的な運営に努めた結果、前期比増収増益となりました。当期の配当金につきましては、前期の配当金1株につき4円を1円増配し1株につき5円とさせていただきます。

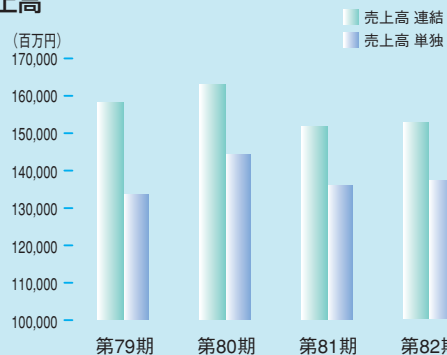
当社グループは今後とも、水産物を中心に、これに関連する周辺分野を視野に入れ、総合食品会社として成長することを目指します。また、安全な食品の供給と環境保全を経営の重点課題とし、社内体制の整備、企業倫理の徹底、法令の遵守、情報の共有化を進め、的確な情報開示による透明度の高い事業運営を行い、社会に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

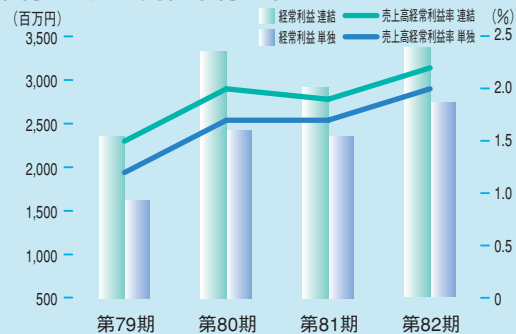
平成17年6月

## 決算ハイライト

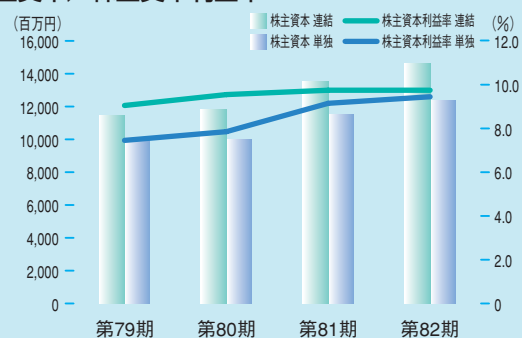
### 売上高



### 経常利益／売上高経常利益率



### 株主資本／株主資本利益率



	79期(2002年3月期)		80期(2003年3月期)		81期(2004年3月期)		82期(2005年3月期)	
	連結	単独	連結	単独	連結	単独	連結	単独
売上高 (百万円)	158,006	133,513	162,773	143,878	151,534	135,837	152,638	137,027
経常利益 (百万円)	2,333	1,602	3,314	2,409	2,895	2,334	3,355	2,722
売上高経常利益率(%)	1.5	1.2	2.0	1.7	1.9	1.7	2.2	2.0
株主資本 (百万円)	11,525	10,021	11,900	10,086	13,638	11,574	14,720	12,463
株主資本利益率(%)	9.1	7.5	9.6	7.9	9.8	9.2	9.8	9.5

## 連結業績の概況

当社グループの売上高は1,526億円（前期比0.7%増）、経常利益33億5千5百万円（前期比15.9%増）となりました。なお、投資有価証券の売却益等、特別利益を3億4千5百万円、減損会計の早期適用に係る減損損失等の特別損失を7億5千2百万円計上いたしました結果、当期純利益は13億8千8百万円（前期比11.3%増）となりました。

## 事業の種類別セグメントの概況

### 【水産商事事業】

海外からの水産物の買付は、中国、タイなどの海外加工品の取り扱いを増やすことにより、たこ、えびなどの主要商材の搬入の減少を補い所期の目標を達成しました。

国内商事事業も天候不順による季節商品の伸び悩みがありましたが、きめ細かな販売を実施し概ね順調に販売いたしました。以上によりこの部門の売上高は790億円（前期比0.1%増）となりました。

今後とも、海外拠点を拡充し、主要商材を確保するとともに水産加工品などの付加価値商材の取り扱いを拡大し、市況変動の影響を受けにくい、安定した収益体制を確保することに努めます。



### 【加工食品事業】

冷凍食品は、他社との競争激化により販売単価は下落しましたが、当社グループ工場の製品や海外加工品を中心に、重点品目を絞り込み販売促進を展開した結果、寿司種商材、骨なし切り身、白身フライ、畜肉加工品などを中心に販売数量を伸ばすことができました。

常温食品は、厳しい販売競争のなか、さけ、さば、さんま缶など魚介缶の拡販に努めた結果、所期の目標を上回りました。以上によりこの部門の売上高は640億円（前期比1.7%増）となりました。

今後とも、販路を拡大するとともに、新商品の開発に努め、収益力の向上を図ります。国内生産では、高付加価値製品の生産に注力し、グループ全体としてより効率的な運営を図ります。海外生産では、海外合弁事業の実施を含め、中国、東南アジアなどの海外拠点を強化し、価格及び品質面で競争力を有する海外製品の取り扱いを拡大します。



### 【物流サービス事業】

冷蔵倉庫事業は、荷動きが低迷するなかで、荷主のニーズに応えたサービスの向上を図るとともに事業の効率化・経費の削減を進めましたが、目標には及びませんでした。

冷蔵運搬船事業は、原油価格の高騰により燃料価格が上昇しましたが、堅調な運賃市況を背景に、事業環境に対応した船隊編成と配船を行うことにより収益を確保しました。

以上によりこの部門の売上高は64億円（前期比4.3%減）となりました。

今後とも、冷蔵倉庫事業は、取引先のニーズに的確に応える体制を整えるとともに、事業所間の情報の共有により営業力の強化・業務の効率化を推進し、安定的な収益の確保に努めます。冷蔵運搬船事業は事業環境に対応した船隊編成と配船を行い、経費の削減と運航効率のさらなる改善により収益の確保を図ります。



### 【漁撈事業】

海外まき網事業は、中西部太平洋及び東沖において、かつお・まぐろを対象として操業を行いました。上期はまぐろ類が好漁で順調に推移しましたが、下期に入るとかつおの魚価が下落し、前期の成績は上回るものの、所期の目標には達しませんでした。以上によりこの部門の売上高は29億円（前期比31.1%増）となりました。

今後とも海外まき網船4隻体制のもと、操業のさらなる効率化と高付加価値製品の生産に努めるとともに、販売面ではグループ全体の連携を進め、販路の拡大を図ります。





### ●タイにおける合併会社設立のお知らせ

当社は平成17年4月、The Union Frozen Products Co.,Ltd (タイ王国 以下UFP社)と合併会社K&U ENTERPRISE CO.,LTD社を設立することで合併契約を締結いたしましたのでお知らせします。

この合併会社は、水産加工品の製造ラインを備えた最新鋭の工場をタイ王国に建設し、安全で良品質の冷凍寿司(欧米市場向け)、寿司種・刺身製品(日本市場及び欧米市場向け)を生産し販売することを目的にしています。

新工場の竣工及び操業開始は平成18年5月を予定、平成19年1月～12月には年間8,000トン、年商約90億円を計画しています。



平成17年4月7日  
バンコク市で行われた合併契約調印式の模様  
(左 当社 福井社長 右 UFP社 Thongchai社長)

### ●機構改正 (2005年4月1日付)

当社は、2005年4月1日より次のとおり機構改正を行いました。

- (1)企画部に広報課を新設し、社外への広報対応、IRの強化を図ります。
- (2)従来の水産部、食品部を水産部、水産加工部、食品部に再編し、水産加工品の強化を図ります。  
また、極洋水産(株)を含めた極洋グループ全体の鯉鮪販売事業を再編し、事業全体の効率化と管理の徹底を図ります。
- (3)事業管理室を廃止して海外事業部を新設し、海外事業(合併、輸出、三国間貿易等)の強化を図ります。
- (4)生産管理部を品質保証部に改称、商品規格課を新設し、商品の規格管理を強化します。
- (5)塩釜研究所を生産管理部から独立させ研究開発部門の強化を図ります。

### ●フルキャストスタジアム宮城に 当社看板広告設置

プロ野球新球団の東北楽天ゴールデンイーグルスのホームグラウンドであるフルキャストスタジアム宮城に当社の看板広告を設置しました。場所は、1塁側、3塁側のポール際の2ヶ所です。



### ●新製品発表

「広がるおいしさひろげるキョクヨー」をテーマに「2004年秋の新製品」として、調理品27品、水産加工品3品、常温食品3品の計33品を、「2005年春の新製品」として、調理品17品、水産加工品5品、常温食品5品の計27品を発表しました。調理品では主婦アドバイザーの開発によるこだわりの味をファミリーユースで考えた新シリーズ「暮らしのシェフ」として「白身魚のオイスター風ソースセット」他1品の特製ソースとのセット商品が新登場しました。水産加工品では鮪の炙り焼シリーズ、常温食品では洞あなご蒲焼等を新発売しました。



(暮らしのシェフ  
白身魚のオイスター風ソースセット)



(本鮪 炙り焼)



(洞あなご蒲焼)

### ●「ISO14001認証取得3カ年計画」完了

2002年、キョクヨーグループは、「ISO14001認証取得3カ年計画」を策定してキョクヨーグループ全体でISO14001の認証登録をめざした環境保全活動を開始しました。

その結果、2002年12月、赤坂サイト(株)極洋本社、東京支社、キョクヨー総合サービス(株)を認証登録、2003年12月(株)極洋全支社、全営業所、塩釜研究所、極洋食品(株)本社・塩釜工場、キョクヨーフーズ(株)、極洋水産(株)本社(陸上)及び大井川工場、キョクヨー秋津冷蔵(株)本社・大阪事業所、極洋商事(株)を拡大認証登録いたしました。さらに、2004年12月、極洋食品(株)ひたちなか工場、八戸工場、キョクヨー秋津冷蔵(株)東京事業所及び福岡事業所、極洋海運(株)(業務部)を拡大認証登録し、これをもって「ISO14001認証取得3カ年計画」は完了しました。今後ともキョクヨーグループは「省エネルギー」「省資源」「リサイクル」「汚染の予防」「社会貢献」を環境保全活動のメインテーマとして取り組み、広く社会に貢献してまいります。



ISO14001認定登録証授与式の模様  
左 (株)日本環境認証機構 伊藤社長  
右 当社 福井社長

●連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 平成17年3月31日現在	前連結会計年度 平成16年3月31日現在
<b>資産の部</b>	<b>58,506</b>	<b>58,562</b>
<b>流動資産</b>	<b>41,655</b>	<b>40,024</b>
現金及び預金	2,775	3,456
受取手形及び売掛金	17,552	16,757
たな卸資産	19,610	18,384
繰延税金資産	447	495
その他	1,370	1,081
貸倒引当金	△ 101	△ 151
<b>固定資産</b>	<b>16,851</b>	<b>18,538</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>9,249</b>	<b>10,639</b>
建物及び構築物	2,353	2,416
機械装置及び運搬具	741	728
船舶	3,472	4,160
土地	2,553	3,234
建設仮勘定	6	—
その他	120	98
<b>無形固定資産</b>	<b>261</b>	<b>244</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>7,340</b>	<b>7,654</b>
投資有価証券	6,096	6,258
繰延税金資産	578	654
その他	754	811
貸倒引当金	△ 88	△ 70
<b>資産合計</b>	<b>58,506</b>	<b>58,562</b>

●有形固定資産の減価償却累計額  
当連結会計年度 6,928百万円  
前連結会計年度 6,678百万円

科 目	当連結会計年度 平成17年3月31日現在	前連結会計年度 平成16年3月31日現在
<b>負債の部</b>	<b>43,762</b>	<b>44,795</b>
<b>流動負債</b>	<b>35,621</b>	<b>37,758</b>
支払手形及び買掛金	7,453	6,991
短期借入金	22,581	25,448
未払法人税等	849	805
賞与引当金	570	595
繰延税金負債	0	—
その他	4,165	3,916
<b>固定負債</b>	<b>8,140</b>	<b>7,037</b>
長期借入金	4,344	2,446
繰延税金負債	101	4
退職給付引当金	1,408	1,435
特別修繕引当金	42	41
役員退職慰労引当金	350	529
長期未払金	1,878	2,554
連結調整勘定	14	24
<b>少数株主持分</b>	<b>23</b>	<b>129</b>
少数株主持分	23	129
<b>資本の部</b>	<b>14,720</b>	<b>13,638</b>
<b>資本金</b>	<b>5,664</b>	<b>5,664</b>
資本剰余金	742	742
利益剰余金	7,272	6,378
その他有価証券評価差額金	1,412	1,318
為替換算調整勘定	△ 2	△ 1
自己株式	△ 368	△ 464
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>58,506</b>	<b>58,562</b>

●1株当たり株主資本  
当連結会計年度 137.23円  
前連結会計年度 127.83円

## ●連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	前連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売 上 高	152,638	151,534
売 上 原 価	135,274	134,889
売 上 総 利 益	17,363	16,644
販売費及び一般管理費	13,702	13,499
営 業 利 益	3,660	3,144
営 業 外 収 益	253	286
受 取 利 息	22	26
受 取 配 当 金	53	41
外 国 為 替 差 益	53	61
そ の 他 の 営 業 外 収 益	124	156
営 業 外 費 用	559	535
支 払 利 息	528	504
そ の 他 の 営 業 外 費 用	30	31
経 常 利 益	3,355	2,895
特 別 利 益	345	183
特 別 損 失	752	745
税金等調整前当期純利益	2,948	2,334
法人税、住民税及び事業税	1,422	1,302
法 人 税 等 調 整 額	136	△ 234
少数株主利益 (△ 損失)	△ 0	18
当 期 純 利 益	1,388	1,248

	当連結会計年度	前連結会計年度
1株当たり当期純利益	12.73円	11.17円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	12.49円	10.99円

## ●連結剰余金計算書 (単位:百万円)

区 分	当連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	前連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
資本剰余金の部		
I 資本剰余金期首残高	742	742
II 資本剰余金増加高	—	0
自己株式処分差益	—	0
III 資本剰余金減少高	0	—
自己株式処分差損	0	—
IV 資本剰余金期末残高	742	742
利益剰余金の部		
I 利益剰余金期首残高	6,378	6,254
II 利益剰余金増加高	1,388	1,248
当期純利益	1,388	1,248
III 利益剰余金減少高	494	1,124
配当金	425	441
取締役賞与金	30	28
自己株式処分差損	1	—
自己株式消却額	—	654
子会社の減少に伴う利益剰余金減少高	36	—
IV 利益剰余金期末残高	7,272	6,378

## ●連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

区 分	当連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	前連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,087	2,325
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 273	△ 1,374
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,333	△ 1,515
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 519	△ 563
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,359	3,923
VII 連結除外による現金及び現金同等物減少高	△ 113	—
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	2,725	3,359

●貸借対照表(要約) (単位:百万円)

科 目	当事業年度 平成17年3月31日現在	前事業年度 平成16年3月31日現在
資産の部	49,680	47,651
流動資産	37,771	34,354
固定資産	11,909	13,296
有形固定資産	3,251	4,225
無形固定資産	233	210
投資その他の資産	8,423	8,860
資産合計	49,680	47,651
負債の部	37,217	36,076
流動負債	32,132	33,052
固定負債	5,084	3,024
資本の部	12,463	11,574
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	742	742
利益剰余金	5,201	4,507
利益準備金	673	673
任意積立金	1,560	1,560
当期末処分利益	2,967	2,273
株式等評価差額金	1,224	1,124
自己株式	△ 368	△ 464
負債及び資本合計	49,680	47,651

●損益計算書(要約) (単位:百万円)

科 目	当事業年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	前事業年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高	137,027	135,837
売上原価	122,375	121,594
売上総利益	14,652	14,243
販売費及び一般管理費	11,863	11,892
営業利益	2,788	2,350
営業外収益	339	395
受取利息	39	45
受取配当金	197	202
外国為替差益	39	68
雑収益	63	78
営業外費用	405	411
支払利息	394	402
雑損失	10	9
経常利益	2,722	2,334
特別利益	360	8
特別損失	720	594
税引前当期純利益	2,361	1,748
法人税、住民税及び事業税	1,091	1,005
法人税等調整額	128	△ 247
当期純利益	1,141	991
前期繰越利益	1,827	1,937
自己株式処分差損	1	—
自己株式消却額	—	654
当期末処分利益	2,967	2,273

●利益処分 (単位:円)

	金 額
当期末処分利益	2,967,736,097
上記の金額を次のとおり処分します。	
株主配当金 (1株につき5円)	535,191,010
取締役賞与金	20,000,000
次期繰越利益	555,191,010
	2,412,545,087

## 株式の概況 平成17年3月31日現在

●会社が発行する株式の総数 3億9,600万株  
 (注)平成17年6月29日開催の定時株主総会において定款の変更が行われ、会社が発行する株式総数は、4,100万株増加し、4億3,700万株となっております。

●発行済株式の総数 109,282,837株

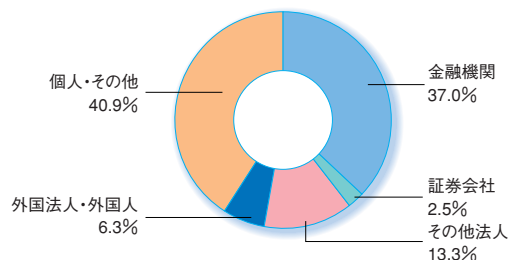
●株主数 11,204名

●大株主

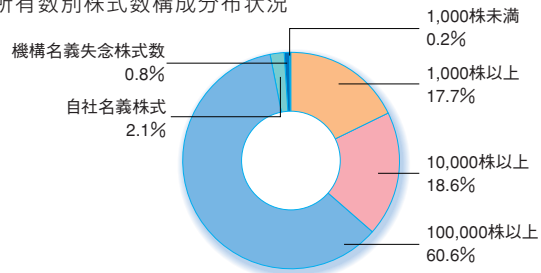
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三井住友海上火災保険(株)	6,201	5.67
(株)りそな銀行	5,234	4.78
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	4,648	4.25
農林中央金庫	4,450	4.07
東洋製罐(株)	3,150	2.88
日本証券金融(株)	3,095	2.83
日本マスタートラスト信託銀行(株)	3,060	2.80

(注)出資比率は、小数点第3位を切り捨てて表示してあります。

●所有者別株式数構成分布状況



●所有数別株式数構成分布状況



## 会社概要 平成17年3月31日現在

●社名 株式会社 極洋

●英文社名 KYOKUYO CO., LTD.

●本社所在地 東京都港区赤坂三丁目3番5号

●設立 昭和12年9月3日

●資本金 56億6千4百万円

●主要な事業内容 水産物の輸出入・国内買付販売、加工食品及び冷凍食品の製造販売

●従業員数 1,123名(連結)  
502名(単独)

●連結対象会社数 11社

## 役員 平成17年6月29日現在

代表取締役社長	福井清計
専務取締役	延塚康男
専務取締役	石川泰久
常務取締役	門田憲一
常務取締役	多田久樹
取締役	久保光太郎
取締役	田村元雄
取締役	須藤時廣
取締役	村上吉男
取締役	荒砥誠
常勤監査役	菊田隆
常勤監査役	細川高稔
監査役	伊東毅
監査役	向山洋治